

京都コムファ

# 薬学生ニュース

2013 年夏号

2013. 7. 1 発行



はじめての  
薬剤師  
生活

## Topics

薬剤師オリエンテーション '2013

在宅訪問日誌 花ぐるま薬局

うちの薬局 みつばち薬局上賀茂店



全国から新人が集合！

# 薬剤師 オリエンテーション '2013



5月24日、25日「第1回全日本民  
医連薬剤師オリエンテーション201  
3」が東京の有明で開催されました。  
参加対象は、2013年4月に全日本  
民医連に加盟する病院や保険薬局に入  
職した薬剤師。北海道から沖縄まで、  
引率などの先輩薬剤師も含め158名  
の薬剤師が全国から集まりました。京  
都コムファからも、4月入職の新人が  
参加しました。

今回はそこに引率で加わった、コス  
モス薬局の中園副薬局長に、潜入(?)  
取材をお願いしました。  
特派員ナカゾノさんのレポートで、  
私たちの加盟する民医連(全日本民主  
医療機関連合会)の研修をご紹介しま  
す。

### 参加薬剤師からの感想

今回の全日本民連新人研修ではあらためて、民医連の歴史や考え方を学ぶことができました。また、全国にいる同期とグループディスカッションを通して今それぞれが抱えている仕事上の悩みなどをいろいろと話し合うことができました。

先輩薬剤師さんとも年齢の近い方から遠い方まで幅広く多くの方と話すことができ今どのようにしていけばいいかなど相談できました。今回の研修は日々の業務の中ではなかなか考えられないことを考える良い機会になったので、今回の研修で得たことを活かしていけるようにこれからもがんばっていきたいと思います。  
(あゆみ薬局 上原)



## 一日目

講演：「私達が最も大切にしていること」

長瀬文雄事務局長  
全国に広がる民医連の医療・介護の在り方を歴史をふまえてお話ししていただきました。民医連薬剤師への期待として、科学者・技術者として成長すること同時に人権の担い手として、民主的集団医療の担い手として視野を広く一級上位の視点で仕事を、と熱く話されていました。その後10人ほどのグループに分かれ、感想、入職して1か月半たった時点での悩みなどを自由に話し合いました。



←これ  
バンドウーラ

この気づきが大切！

夕方からは、夕食と文化の夕べとして、バンドウーラ(ウクライナの民族楽器)奏者のナターシャ・ゲジーンさんによる歌と演奏を聴きました。夕食の時には一人ずつ初任給の使い道を報告。  
ほとんどが親を食事に招待したとか、プレゼントを買ったなど(中には、旅行で使いもうありませんなどの強者もいましたが)



親孝行な子がいっぱい。  
母親としては嬉しい！

私の時も、こんな話  
聞けていたらなー。

## 二日目

先輩薬剤師からのメッセージ  
吉野禎章薬剤師(2年目) 千葉 すこや  
か薬局↓船橋二和病院  
薬学部入學理由から学生時代の話、就職当初、「薬の知識が臨床的でない」「服薬指導が機械的」「周りが見えない」など問題点があると気づき、本を読んだり、患者さんから学んできたことをわかりやすく話してくださいました。一番近い先輩として、参考になったのではないでしょう。

講演：「民医連の薬剤師像」  
東久保隆理事(薬剤師)  
「日本の常識 世界からは非常識」という観点から、大学の学費の高さ、地震大国に54基の原発、GDPが20年間増加していない国(大企業の取り分増加、国民の給与削減)であること、医療費の自己負担が高いことから、情勢の見方・とらえ方を教えていただき、それを踏まえて私たちはどう取り組んでいくのか、お話ししてくださいました。副作用モニター、新薬モニターの取り組み、災害支援の取り組みなど盛りだくさんの内容をかなりのスピードで話されましたがとてもわかりやすかったです。

退職したら、  
グループの人たちの  
所をまわってみようかな



その後1日目と同じグループでフリーディスカッション。具体的な悩み、あまりにも初歩的過ぎて職場の先輩に聞きづらかったことなど、最後はもつと話したーと思うほど盛り上がりました。  
全国にこんなにたくさん仲間がいるんだなと感じ、職場に持ち帰り頼もしい薬剤師になってくれるんじゃないかな、とおおいに期待しています。  
コスモス薬局 中園



恒例の在宅訪問日誌も第3回となりました。  
今回は花ぐるま薬局からコンプライアンスの対照的なM井さんと、U田さんをご紹介します。

・M井さん(90歳) 男性  
コンプライアンス良！薬の理解度良！疾病の理解度良！3拍子揃った患者さんです。  
薬剤師の訪問にも受け入れがよく、2週間に一回の在宅訪問を心待ちにしてくれています。  
最近、デイサービスで撮った写真がチラシに掲載されたことを嬉しそうにお話ししてくださいました。とてもよい関係を築けておりこれからも元気に過ごせるようにサポートしていこうと考えています。

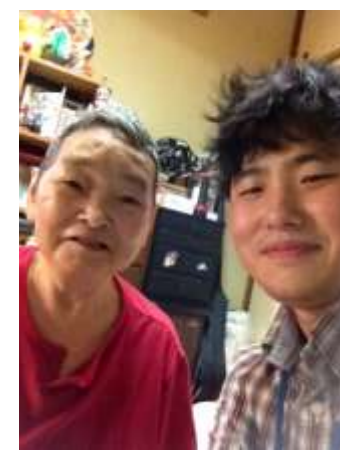


U田さん(77歳) 女性  
在宅訪問介入前は多くの診療科を受診、また30種類以上の薬を自己管理されており、コンプライアンスが悪い状態でした。どうやったらコンプライアンスが良くなるのか??  
①薬の数を減らす。②薬は薬剤師が管理する。③ライフスタイルの見直し。

この3点を軸に在宅訪問をすすめていくことにしました。  
家族さんとお話すると、多くの診療科から処方される薬袋の多さがコンプライアンス不良の原因の一つだと知りました。  
そこで、同じ用法の薬をカレンダーにまとめてセットすることにしました。始めのうちは飲めていなかった事があったものの今ではきちんと服用してもらっています。

### 連載コラム 在宅訪問日誌 第3回 花ぐるま薬局

異なる背景を持つ方々ですが、「いつもお薬を持ってきてくれてありがとうございます。おかげで元気でいられています。」と感謝してくれ、僕自身すごくやりがいのある仕事だと感じています。  
花ぐるま薬局 高尾



# みつばち薬局上賀茂店

京都市北区上賀茂藤ノ木町 22-1

## うちの薬局



みつばち薬局上賀茂店は2013年4月に開局したばかりの薬局です。「上賀茂」という京都では有数の観光名所にあり、建物の外観にも規制がかかり、雰囲気合った民家風の建物になっています。開局当初は患者さんにも驚かれました。処方箋枚数月1000枚ほどの小さな薬局ですが、常勤職員は5人おり、在宅活動に力を入れています。月の居宅療養算定回数は267回(2013年5月)で、これは京都全体の算定回数約1割を占めています。薬局の雰囲気はともアットホームです。毎日の朝会では患者の申し送りや業務上必要な話の話し合いをしているために、議論も活発で、お互い意見を言いやすい環境にあると思います。隣の診療所との連携も密に行っており、日々の連絡はもちろんのこと、月1回在宅カンファレンスを開いて、課題がある患者に対してさらに踏み込んだ話し合いもしています。

患者さんの生活を支えるために薬だけでなく生活面の相談も行い、利用可能な医療制度を積極的に紹介しています。現在は「41公費」といって、65歳以上70歳未満の方で一定の収入以下の患者さんは負担割合が3割から1割になるという制度の紹介をすすめています。対象になる患者さんが何人かおられ、「紹介してくれてありがとう」と笑顔で言われるとても嬉しくなります。薬だけでなく、医療・福祉も相談できるといふ安心感が患者さんの信頼を得ることにつながり、かかりつけ薬局としての役割を発揮できるのではないかと考えています。開局して3ヶ月。最初は慌ただしかったものの、少し落ち着いてきたかなという感じです。まだまだ課題は多いですが職員一丸となって頑張っていきたいと思えます。

みつばち薬局上賀茂店  
前田裕介



Twitter アカウント@kyotocompha

各薬局の取組や説明会情報など、事務局がつぶやきます。

facebook

Facebook ページ始めました。

<https://www.facebook.com/kyotocompha>



コムファリレー

京都コムファ HP 内

<http://www.kyoto-compha.or.jp/>

京都コムファで働く薬剤師のブログ  
週3回更新しています。

## 一般社団法人京都コムファ



〒604-8454 京都市中京区西ノ京小堀池町 18-7

Tel:075-821-8010 FAX:075-821-8070

e-mail:yakugaku@kyoto-compha.or.jp

みつばち薬局上賀茂店

花ぐるま薬局

コスモス薬局

みつばち薬局紫野店

なごみ薬局

あゆみ薬局

薬局見学・インターンシップ 随時受け付けています。  
お申込み、お問い合わせは上記まで。